

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

	7年度 A	6年度 B	増△減(A-B)
予算額	1,282,849	1,072,186	210,663

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
1 ブルーライン車両重要部・全般検査用材料調達事業	120,996

## (1 事業目的・内容)

重要部保全・全般保全及び新重要部保全検査において、車両の安全運行と性能維持のため、定期交換が必要となる部品を購入します。

1 R元年度～R6年度の購入実績単価及び見積を用いて、各種部品の使用予定数量から予算金額を算出しました。

2 R7年度予算事業対象期間: R8年度全期(令和8年4月～令和9年3月)

3 対象編成数: ①重要部保全検査 0編成 ②全般保全検査 4編成 ③新重要部検査 6編成

## 定期検査別材料部品費用

項目	検査別材料費(1編成当たり)		
	①重要部保全	②全般保全	③新重要部
台車部品	-		
空制部品・電動空気圧縮機部品	-		
制御・一般電気部品	-		
戸閉装置部品・車体部品	-		
税抜金額	-	18,333	6,111
税(10%)	-	1,833	611
合計金額	-	20,166	6,722

## 事業費用(税込)

項目	単価	数(編成)	金額
①重要部保全検査用材料	-	-	-
②全般保全検査用材料	20,166	4	80,664
③新重要部検査用材料	6,722	6	40,332
合計金額			120,996

## 年度別積算金額(税込)

項目	R5年度	R6年度	R7年度
①重要部保全検査用材料			0
②全般保全検査用材料	117,315	116,565	80,664
③新重要部検査用材料		12,030	40,332
合計金額	117,315	128,595	120,996

## (2 前年度から変更・見直した点)

検査入場計画及び整備内容に合わせて材料の購入を変更

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
2 ブルーライン車両列車検査・月検査材料調達事業	31,233

## (1 事業目的・内容)

列車検査・月検査において、車両の安全運行と性能維持のため、定期交換が必要となる部品を購入します。

項 目	積算金額	
	金 額	備 考
制御・一電部品		速度発電機部品、遮断器部品等
車体・空調部品		ワイパー、継電器、フィルター類等
空制・台車部品		空制部品等
集電・回転部品		集電靴、軸フラン等
合計金額	31,233	税(10%)込み

## (2 前年度から変更・見直した点)

在庫数に合わせて購入数量を調整

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

令和7年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

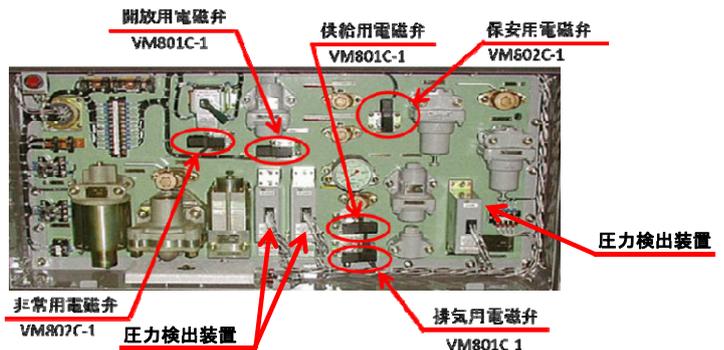
(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
<b>3 ブルーライン車両電磁弁・圧力検出装置圧力センサー購入事業</b>	

(1 事業目的・内容)

ブレーキ制御装置の電磁弁及び圧力検出器用圧力センサを購入します。  
 電磁弁は、電磁コイルにより圧縮空気の回路を開閉するもので、常時閉(通電時閉)のVM801C-1と常時開(通電時開)のVM802C-1の2種類あります。  
 常時開(通電時開)のVM801C-1は、供給試験・排気試験・開放用として、常時閉(通電時閉)のVM802C-1は、非常・保安用として、基礎ブレーキ装置の制御を行います。  
 圧力検出器用圧力センサは、ブレーキ装置の圧縮空気の圧力を検出するセンサです。  
 圧力を電子信号に変換し、ブレーキ装置及びモニタ装置に出力します。  
 経年と使用により劣化した部品を定期的に交換するため、必要な部品を購入します。

積算金額		R7年度 1編成
VM801C-1	数 (18個/編成)	18
	税込価格	
	小計	
VM802C-1	数 (12個/編成)	12
	税込価格	
	小計	
圧力検出装置 圧力センサ	数 (44個/編成)	44
	税込価格	
	小計	
合計金額		



(2 前年度から変更・見直した点)  
 交換計画に合わせて実施

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
--------	--------

4 ブルーライン車両集電装置部品購入事業

(1 事業目的・内容)

集電装置で使用している防振ゴムほかの部品を購入します。  
 集電装置は、第三軌条から車両に必要な電力を得るための装置です。  
 経年劣化したゴム部品を定期的に交換するため必要な部品を購入します。

積算金額

項目	個数	単価	小計
防振ゴム(梁用)	250		
防振ゴム(靴用)	100		
税抜金額			
消費税(10%)			
合計金額			



集電装置



防振ゴム  
(梁用)



防振ゴム  
(靴用)



集電装置

(2 前年度から変更・見直した点)

入場計画に合わせて数量を変更

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
5 4000形車両全般保全検査対応用予備部品購入事業	39,930

## (1) 事業目的・内容)

ブルーライン車両の全般保全検査は、車両が工場へ入場してから、車両の分解、部品単体整備・検査、組成、総合検査を行い、試運転を実施し出場するまでの期間が約稼働28日間前後で行っています。  
一部の部品については、単体の整備・検査がその期間内に完了できないものがあり、事前に整備した予備部品を準備し対応しています。4000形車両についてはそれらの予備部品がないため購入いたします。

No.	機器名	数量	単価(千円)	小計(千円)	備考
1	FDA70応荷重弁	4	262	1,048	R6年度契約、R6年度納品
2	FDA100応荷重弁	2	262	524	R6年度契約、R6年度納品
3	Y切換弁	12	90	1,080	R6年度契約、R6年度納品
4	M-60給気弁	12	80	960	R6年度契約、R6年度納品
5	3/4逆止弁	6	19	114	R6年度契約、R6年度納品
6	圧力計 75×1000双針圧力計	6	144	864	R6年度契約、R6年度納品
7	D4S運動ドレン弁	2	210	420	R6年度契約、R6年度納品
8	安全弁(高圧、乙)	2	45	90	R6年度契約、R6年度納品
9	100×1000KPa双針圧力計	2	336	672	R6年度契約、R6年度納品
10	LV-3自動高さ調整弁	24	52	1,248	R6年度契約、R6年度納品
11	差圧弁	12	30	360	R6年度契約、R6年度納品
12	Y4-2Bドアエンジン	36	383	13,788	R6年度契約、R6年度納品
13	XVA-2-CKV2-Wドア電磁弁	36	161	5,796	R6年度契約、R6年度納品
14	AD7F除湿装置	2	970	1,940	R6年度契約、R7年度納品
15	VM-25電磁弁(VM25-1C)	2	150	300	R6年度契約、R7年度納品
16	VM-25電磁弁(VM25-1)	2	150	300	R6年度契約、R7年度納品
17	S39-H気圧スイッチ	1	360	360	R6年度契約、R7年度納品
18	電動空気圧縮機(C2000LB)	2	4,100	8,200	R6年度契約、R7年度納品
19	集電装置	12	2,100	25,200	R6年度契約、R7年度納品

R6年度契約、R6年度納品の税込み合計(千円)	29,660	No.1からNo.13
R6年度契約、R7年度納品の税込み合計(千円)	39,930	No.14からNo.19

## (2) 前年度から変更・見直した点)

部品の納期及の変更及び単価の変動

## (3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

## (4) 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費	56,940	39,930				96,870
債務負担設定	27,720					27,720

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
--------	--------

## 6 ブルーライン車両戸閉制御装置の部品購入事業

## (1 事業目的・内容)

本件は、ブルーライン3000形車両の戸閉制御装置で使用している装置内リレーを購入するものです。この装置はATO送受信器からの信号をリレー動作に変換しワンマン運転時は運転士スイッチに連動、ツーマン運転時は車掌スイッチに連動してホーム柵ドア開閉指令を出力します。併せて運転台に配置されている「ホーム柵」「ホーム柵 ドア支障」「ホーム柵異常」表示の点灯条件も出力します。車両のドア開閉には欠かせない部品であり、車両の安全運行確保と装置の性能維持のため購入します。

項目	品名	1編成当り使用個数	R7年度購入計画数(14編成)	単価(千円)	金額(千円)
パワーリレー	MM4XP-D	14	196		
ソリッドステートタイマー	H3CA-A	20	280		
ソリッドステートタイマー	H3CR-F8	2	28		
パワーリードリレー	RB3P-G21D	58	812		
パワーリードリレー	RB4P-G22D	8	112		

税抜き合計(千円)

消費税10%(千円)

税込み合計(千円)



戸閉制御装置

## (2 前年度から変更・見直した点)

交換計画に合わせて実施

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

令和7年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

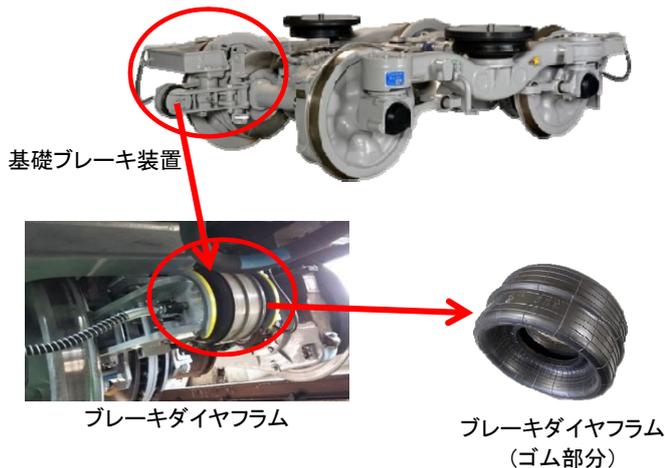
【 事 業 内 容 】	7年度予算額
-------------	--------

7 ブルーライン車両ブレーキダイヤフラム購入事業

(1 事業目的・内容)

基礎ブレーキ装置で使用しているブレーキダイヤフラムを購入します。  
 基礎ブレーキ装置は、ブレーキディスクをブレーキライニングで挟み摩擦力を利用して減速させる装置です。ブレーキダイヤフラムは、金属製の円筒とゴム等から構成されており、圧縮空気が送り込まれることでダイヤフラムが膨張し、ブレーキてこを動作させブレーキを作用させるものです。経年劣化したゴム部品を定期的に交換するため必要な部品を購入します。

積算金額		小計
項 目	数量	
ブレーキダイヤフラム	単価	40
	小計	
税抜金額		
消費税(10%)		
合計金額		



(2 前年度から変更・見直した点)  
 入場計画に合わせて数量を変更

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)  
 鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】 7年度予算額

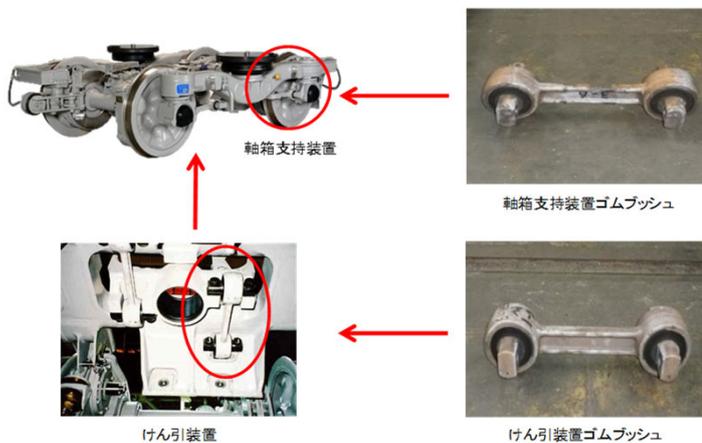
8 ブルーライン車両軸箱支持装置等部品購入事業

(1 事業目的・内容)

軸箱支持装置と牽引装置で使用しているゴムブッシュを購入します。  
 軸箱支持装置は車軸を支える装置で、弾性と減衰作用を持たせるため、リンクの接続部にゴムブッシュを使用しています。  
 けん引装置は、台車枠と車体間の駆動力及び制動力を伝達する装置で、軸箱支持装置と同様にゴムブッシュを使用しています。  
 経年劣化したゴム部品を定期的に交換するため必要な部品を購入します。

積算金額

項目	単価	数量	小計
軸箱支持装置ゴムブッシュ		200	
けん引装置ゴムブッシュ		380	
税抜金額			
消費税(10%)			
合計金額			



(2 前年度から変更・見直した点)

入場計画に合わせて数量を変更

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

## 【事業内容】

7年度予算額

## 9 ブルーライン車両車輪購入事業

## (1) 事業目的・内容)

車輪は車体などの荷重を受け、レール上を転動するとともに、車両をレールに沿って導く役割があります。また、車輪はレールとの摩擦や車輪形状を維持するための削正を行うことにより摩耗していき、使用限度に達した車輪は交換する必要があります。この交換に必要な車輪を購入します。

積算金額			
項目	単価	数量	小計
車輪		16	
	税抜金額		
	消費税(10%)		
	合計金額		



車輪

## (2) 前年度から変更・見直した点)

前年度実績なし、在庫数量に基づき購入

## (3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

## 【事業内容】

7年度予算額

## 10 ブルーライン車両戸閉スイッチ購入事業

## (1 事業目的・内容)

戸閉スイッチはドア開閉状態を判定するスイッチとして、ブルーライン車両に取り付けている装置です。本装置が故障すると、車両はドアが閉じている事を認識できず、車両の走行ができなくなります。機器老朽化や突発的故障に備え、予防保全のため交換を行うために本機器を購入します。

品目	編成当り数量	対象編成数	単価(千円)	小計(千円)
戸閉スイッチ	36	20		
税抜き合計				
税込み合計				

(2 前年度から変更・見直した点)  
新規事業

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

令和7年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
11 ブルーライン車両フィルタリアクトル購入事業	0

(1 事業目的・内容)

フィルタリアクトルは事故電流・高調波電流の抑制を目時として、ブルーライン車両に取り付いている装置です。本装置が故障すると、車両の走行ができなくなります。また、本装置は発注から納品までの期間を1年以上要する部品です。機器老朽化による故障や突発的故障が発生すると、納品まで車両の運行ができずにタイヤの維持ができません。よって、本装置を購入します。

型式	数量	単価(千円)	小計(千円)
RT-1751-A(3000N、R、S形)	1		
RT-2822(3000V形、4000形)	1		
税抜き合計			
税込み合計			



フィルタリアクトル

(2 前年度から変更・見直した点)  
新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和7年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
-------------	--------

12 ブルーライン車両速度発電機購入事業

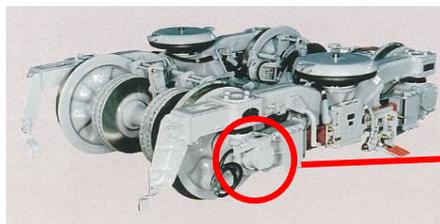
(1 事業目的・内容)

速度発電機は、両先頭車の左右車軸端に取付けられており、誘導子と固定子を備えた誘導子形速度発電機で、車軸に合わせて誘導子が回転し、固定子との間に速度と比例した交流電圧を発生させATC装置、モニタ装置、速度指示計等に出力し速度、距離情報として使用する装置です。

現在3000R形に搭載されている速度発電機は、約20年が経過しています。

過去に速度発電機の経年劣化に起因する故障が発生していることや故障時に修理対応が不可能であることから、車両の安全運行確保と性能維持のため、速度発電機を購入します。

品名	1編成当りの使用個数	R形14編成分使用個数	単価(千円)	合計(千円)
MS-S180R形速度発電機	2	28		
MS-S180L形速度発電機	2	28		
			税抜き合計(千円)	
			消費税10%(千円)	
			税込み合計(千円)	



(2 前年度から変更・見直した点)  
交換計画に合わせて実施

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)  
鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

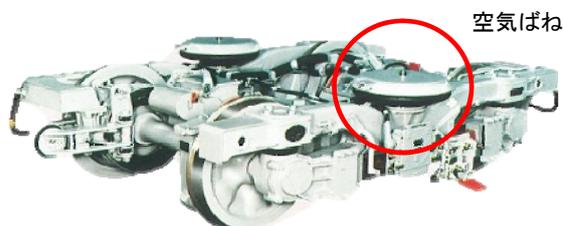
【事業内容】	7年度予算額
--------	--------

## 13 ブルーライン車両空気ばね購入事業

## (1 事業目的・内容)

空気ばねは、ダイヤフラム内部に空気を封入し、空気圧にてばね効果を得て車体荷重を支えるほか、車輪がレール上を転動する際の振動を抑制し、乗り心地を向上させる役割を持つものです。  
経年劣化したゴム部品を定期的に交換するため空気ばねを購入します。

積算金額			
項目	単価	数量	小計
空気ばね		48	
	税抜金額		
	消費税(10%)		
	合計金額		

(2 前年度から変更・見直した点)  
新規事業

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】 7年度予算額

14 ブルーライン車両制輪子頭購入事業

(1 事業目的・内容)

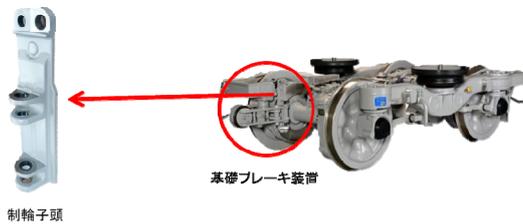
基礎ブレーキ装置で使用している制輪子頭を購入します。

基礎ブレーキ装置は、ブレーキディスクをブレーキライニングで挟み摩擦力を利用して減速させる装置で、ブレーキライニングは制輪子頭に取り付けてあります。

制輪子頭は長年の使用により不具合が生じることが危惧されるため、不具合が生じる前に制輪子頭を交換する必要があります。この交換に必要な制輪子頭を購入します。

積算金額

項目	単価	数量	小計
制輪子頭		390	
税抜金額			
消費税(10%)			
合計金額			



(2 前年度から変更・見直した点)  
新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
15 重要部保全・新重要部保全・全般保全検査委託事業	391,488

## (1 事業目的・内容)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」及び「施設及び車両の定期検査に関する告示(国土交通省告示)」に基づき、鉄道車両の検査周期等を定めた実施基準(横浜市高速鉄道車両整備実施基準)を届け出しています。この実施基準に定めている定期検査(重要部保全検査・全般保全検査・新重要部検査)の業務を委託して実施します。

## 定期検査の内容

重要部保全検査	5年または走行距離が60万キロメートルを超えない期間のいずれか短い期間ごとに、動力発生装置、走行装置、ブレーキ装置等、主要部分について分解・検査を行います。
新重要部保全検査	5年または走行距離が60万キロメートルを超えない期間のいずれか短い期間ごとに、動力発生装置、走行装置、ブレーキ装置等、主要部分について台車と車体を分離しない在姿状態での検査を行います。
全般保全検査	全般検査の周期を延伸し、10年を超えない期間ごとに、車両を全般にわたって分解・検査を行います。
特別整備	空調装置の定期洗浄、ロールフィルタ交換、空調ダクト清掃、吹き出しロフィルター交換を行います。

項目	単価	単位	R7年度		
			数量	金額	
車体ほか	重要部保全検査	42,384	編成	0	0
	全般保全検査	43,955	編成	5	219,775
	新重要部保全検査	19,577	編成	2	39,154
	特別整備等	—	式	1	86,083
	業務補助	—	式	1	8,476
	合計金額(税込み)				353,488
ATC装置ほか	重要部保全検査	5,720	編成	0	0
	全般保全検査	5,720	編成	5	28,600
	新重要部保全検査	1,980	編成	2	3,960
	空制弁類整備	1,700	編成	1	1,700
	合計金額(税込み)				34,260
列車無線	重要部保全検査	660	編成	0	0
	全般保全検査	660	編成	5	3,300
	定期部品交換整備	88	編成	5	440
	合計金額(税込み)				3,740
	合計金額				391,488

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

## (4 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費	411,962	391,488				803,450
債務負担設定	414,368					414,368

令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
16 月検査業務委託事業	

(1 事業目的・内容)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」及び「施設及び車両の定期検査に関する告示(国土交通省告示)」に基づき、鉄道車両の検査周期等を定めた実施基準(横浜市高速鉄道車両整備実施基準)を届けています。この実施基準に定めている定期検査(月検査)の業務を委託して実施します。令和7年度から令和8年度までの2年契約で、令和7年度は1年目となります。

月検査	90日を超えない期間ごとに車両の状態及び機能について検査を行います。
車輪削正	走行中にレールとの摩擦により車輪に生じた傷や摩耗について、車輪を削ることにより本来の形状に戻します。
業務補助	検修設備の点検等の補助作業を行います。
定期点検	月検査とは別途に定める点検項目について、項目ごとに定める検査周期で点検を行います。

年度別施工数および積算金額

項目	単価	単位	R7年度		R8年度	
			数量	金額	数量	金額
直接人件費						
月検査		編成	148		148	
車輪削正		軸	900		900	
業務補助		月	12		12	
定期点検		式	1		1	
諸経費			-		-	
業務価格(税抜)			-		-	
税(10%)			-		-	
合計金額						

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

(4 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費	88,317					
債務負担設定						

令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
17 ブレーキライニング張替修理事業	

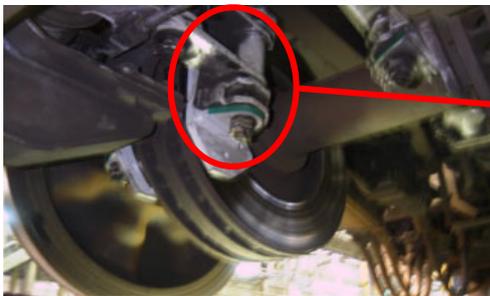
(1 事業目的・内容)

使用して摩耗したディスクブレーキのブレーキライニングを新品に張り替えます。

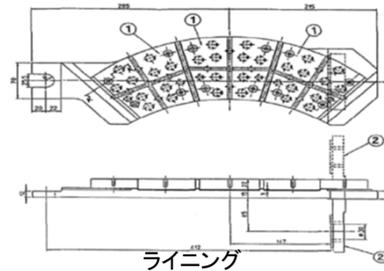
項目	数(枚)	単価	小計
ブレーキライニング張替	2,000		

ライニング使用基準

新品ライニング 厚さ	22mm
使用限度ライニング 厚さ	8mm



基礎ブレーキ装置



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
18 その他修理事業	84,252

## (1 事業目的・内容)

車両に発生した不具合の修理を実施します。  
R7年度予算は、R3～R5年度の平均修理実績金額を計上します。

## 過去3年間の実績と予算額

項目	R3年度	R4年度	R5年度	R7年度
予算額	72,258	85,169	79,519	84,252
実績額	73,216	106,460	73,079	-

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

令和7年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】 7年度予算額

19 ブルーライン車両車輪交換事業

(1 事業目的・内容)

車輪は車体などの荷重を受け、レール上を転動するとともに、車両をレールに沿って導く役割があります。また、車輪はレールとの摩擦や車輪形状を維持するための削正を行うことにより摩耗していくため、使用限度に達した車輪を交換します。

積算金額			
項目	単価	数量	小計
車輪交換		68	
	税抜金額		
	消費税(10%)		
	合計金額		



車輪



車輪交換作業

- (2 前年度から変更・見直した点)  
 入場計画に合わせて数量を増

- (3 根拠法令・規程、現場の意見等)  
 鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

## 【事業内容】

7年度予算額

## 20 ブルーライン車両ディスク板交換事業

## (1 事業目的・内容)

ディスク板は、ブレーキライニングとの摩擦力を利用して減速させる基礎ブレーキ装置の一部で、ブレーキライニングとの摩擦により摩耗していく部品です。この摩耗により使用限度に達したディスク板を交換します。

積算金額			
項目	単価	数量	小計
ディスク板交換		82	
	税抜金額		
	消費税(10%)		
	合計金額		



ディスク板



ディスク板

- (2 前年度から変更・見直した点)  
入場計画に合わせて数量を減

- (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

令和7年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】 7年度予算額

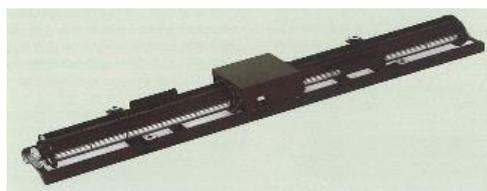
21 ブルーライン車両送風機清掃事業

(1 事業目的・内容)

客室内の空気循環と扇風機としての機能をもつ送風機の清掃を行います。  
送風機を取り外し清掃を行い、付着したほこりを除去し清潔な状態を維持します。

積算金額

項目	数量	単位	税込価格	金額
A/N/V形送風機清掃	2	編成		
R/S形送風機清掃	6	編成		
4000形送風機清掃	3	編成		
合計金額				



(2 前年度から変更・見直した点)  
入場計画に合わせて実施

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
--------	--------

## 22 ブルーライン車両台車装置修繕業務委託事業

## (1) 事業目的・内容)

全般保全検査時に、台車装置の検査及び整備を実施しています。この検査・整備時に台車装置で不具合が発見された場合は、台車装置の製造メーカーにより修繕を実施します。

## 積算金額

項目	単価	数量	小計
台車装置修繕(戻しバネ含む)		1	
台車装置修繕(戻しバネなし)		6	
戻しバネ穴あけ補修		1	
税抜金額			
消費税(10%)			
合計金額			

## (2) 前年度から変更・見直した点)

入場計画に合わせて数量を減

## (3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

令和7年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
<b>23 新重要部検査修理単価契約委託事業</b>	

(1 事業目的・内容)

新重要部検査で実施する修理について、単価契約により委託する事業です。

積算金額

項 目	数(式)	価格
修理単価契約委託事業	1	
合計金額		

修理項目

- |                            |                 |
|----------------------------|-----------------|
| 1 栓受け接触片バネ交換               | 13 左右動ダンバ整備     |
| 2 密着連結器ゴムパット交換             | 14 モノリンクブッシュ交換  |
| 3 半永久連結器ゴムパット交換            | 15 Zリンクブッシュ交換   |
| 4 連結器ボルト・Uナット交換            | 16 特殊ゴム(減衰ゴム)交換 |
| 5 集電装置高さ調整用平座金交換           | 17 軸バネ交換        |
| 6 集電装置靴支えピン交換              | 18 牽引装置ブッシュ組立交換 |
| 7 集電装置防振ゴム交換               | 19 ブレーキダイヤフラム交換 |
| 8 主電動機ボールベアリング+ローラーベアリング交換 | 20 制輪子頭用ブッシュ交換  |
| 9 戸車交換                     | 21 戻しバネ組立交換     |
| 10 脱線止めボールベアリング交換          | 22 台車分解・組立・仕上げ  |
| 11 空制電磁弁交換(VM801・VM802)    | 23 ディスク板削正      |
| 12 戸閉ゴムブッシュ・パイロット弁交換       | 24 空制弁試験        |

(2 前年度から変更・見直した点)

対象編成の見直し。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
--------	--------

## 24 ブルーライン車両戸閉装置歯付ベルト交換修理事業

## (1 事業目的・内容)

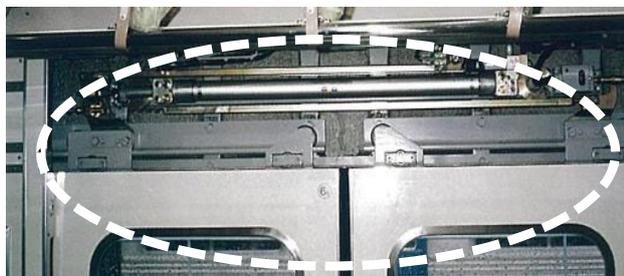
戸閉装置は、駅到着時にお客さまが乗降される際、車両ドアの開閉を行う装置です。同装置内に装備されている、ドア開閉時に重要な歯付ベルトが経年劣化により、破断及び捻じれが発生しています。この状態では、ドア開閉に支障をきたす恐れがあり、お客さまを安全に乗降させることが出来なくなるため、本事業で歯付ベルトの交換を行います。

## 1編成あたり施行金額

項目	単価
歯付ベルト交換	

## 積算金額

項目	編成数	単価	小計
歯付ベルト交換	5		
	税(10%)		
	合計金額		



## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
--------	--------

## 25 ブルーライン車両車椅子スペース床面標記貼付業務委託

## (1) 事業目的・内容)

車椅子、ベビーカーのお客様が快適にご利用いただくために、各車両に車椅子・ベビーカーエリアを設けています。  
 車椅子スペース床面標記はお客様が容易に識別できるよう、BL4000形車両ならびにGL6両化車両床面に貼りつけています。  
 今後、BL未施工車両に貼付を実施するため業務委託をおこないます。

(車椅子スペース床面ステッカー購入はR6年度に別途契約済)

未施工車両

(1)ブルーライン

- ・3000N 2箇所/編成 12箇所/6編成
- ・3000R 6箇所/編成 84箇所/14編成
- ・3000S 6箇所/編成 36箇所/6編成
- ・3000V 6箇所/編成 6箇所/1編成



## (2) 前年度から変更・見直した点)

## (3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

公共交通機関等における車椅子・ベビーカー利用の安全性・快適性向上

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
--------	--------

## 26 ブルーライン車両側面シーリング材修繕事業

## (1 事業目的・内容)

ブルーライン車両の側面の窓及び扉の周囲にはそれぞれ構造部材として枠が取り付けられており、車体と枠はシーリング材により水密性が確保され車内へ雨水等が浸水しないような構造になっています。一部の車両にシーリング材の劣化が見られるため修繕を行います。

## 1編成あたり施行金額

項目	単価
車両側面 シーリング材修	

## 積算金額

項目	編成数	単価	小計
補修	5		
税(10%)			
合計金額			

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

## 【事業内容】

7年度予算額

## 27 ブルーライン車両空調装置改修事業

## (1 事業目的・内容)

車両空調装置は、客室内の温度を快適に保つための装置です。

## 空調装置1台当たりの概算金額

項目	単価
空調装置修繕費	

## 積算金額

項目	台数	単価	合計(税抜き)	合計(税込み)
空調装置修繕(R7年分)	6			
空調装置修繕(R8年分)	6			

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## (4 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 38 車両修繕費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術) 担当者名: 巴

(単位:千円)

	7年度 A	6年度 B	増△減(A-B)
予算額	754,313	468,603	285,710

	ブルーライン
	○ グリーンライン
	共通

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
1 重要部保全・全般保全検査用材料調達事業	180,714

## (1 事業目的・内容)

グリーンライン10000形車両の重要部保全検査及び全般保全検査で行う整備に必要な材料を購入します。  
車両の安全運行を確保し各装置の性能を維持することを目的として、主に定期交換が必要となる部品を購入します。  
製作に半年以上の期間が必要な部品を調達するため、令和8年度に使用する材料を1年前倒して購入するものです。

## (2 前年度から変更・見直した点)

- ・各部品の在庫数量と1編成あたりの必要数量の差から購入数量を算出しました。
- ・実績単価及び見積により部品単価を算出しました。

【対象編成数】	重要部保全検査	全般保全検査	計
	4編成	1編成	5編成

## 【内訳】

(単位:千円)

項目	重要部保全検査[1編成あたり]	全般保全検査[1編成あたり]
台車・連結器部品		
パンタグラフ・車体部品		
空制・空調・電子機器部品		
戸閉装置部品		
リング・軸受		
一般機械部品・一般電気部品等		
計	35,015	40,654

(単位:千円)

予算額			
項目	単価	数量	金額
重要部保全検査用材料	35,015	4編成	140,060
全般保全検査用材料	40,654	1編成	40,654
計			180,714

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・鉄道に関する技術上の基準を定める省令
- ・横浜市高速鉄道車両整備実施基準
- ・高速鉄道車両整備要領10000形

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 巴

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
2 列車検査・月検査用材料調達事業	9,307

## (1 事業目的・内容)

グリーンライン10000形車両の列車検査及び月検査で行う整備に必要な材料を購入します。  
 車両の安全運行を確保し各装置の性能を維持することを目的として、主に摩耗限度のある消耗部品を購入します。  
 製作に半年以上の期間が必要な部品を調達するため、令和8年度に使用する材料を1年前倒して購入するものです。

## (2 前年度から変更・見直した点)

- ・各部品の在庫数量と1編成あたりの必要数量の差から購入数量を算出しました。
- ・実績単価及び見積により部品単価を算出しました。

## 【内訳】

項目	金額	備考
パンタグラフ部品		すり板
ブレーキ部品		ライニング
計	9,307	

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・鉄道に関する技術上の基準を定める省令
- ・横浜市高速鉄道車両整備実施基準
- ・高速鉄道車両整備要領10000形

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 巴

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
3 その他材料調達事業	4,748

## (1 事業目的・内容)

車両故障等が発生した際に、不具合箇所の部品交換を実施します。また予防保全のため、不具合が発生した箇所について、他編成に対して一斉点検を行う場合があります。  
 安定的な運行提供の為、迅速に対応する必要があり、予備部品を使用して不具合箇所を復旧しています。  
 予備部品を使用すると、障害対応用で保管していた部品や定期交換用で保管していた部品の在庫が不足するため、補充する必要があります。

## 【過去3年間の障害対応用による部品交換と平均単価】

年度	購入件数(件)	発注総額(千円)
令和3年度	10	5,164
令和4年度	7	3,548
令和5年度	9	5,006
令和6年度(予測)	14	

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・鉄道に関する技術上の基準を定める省令
- ・横浜市高速鉄道車両整備実施基準
- ・高速鉄道車両整備要領10000形

令和7年度 修繕費 事業計画書

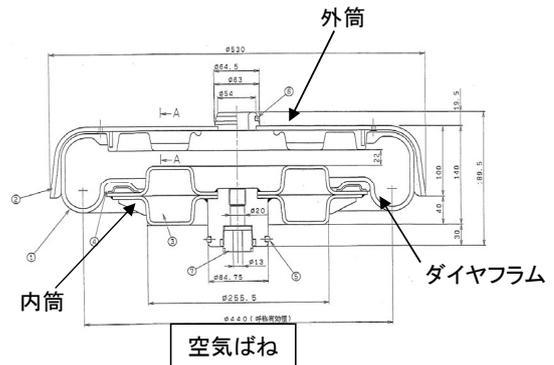
<p>予算科目</p>			<p>担当</p>
<p>款: 02 高速鉄道事業費</p>	<p>項: 01 営業費用</p>	<p>目: 30 車両保存費</p>	<p>所属: 車両課(技術)</p>
<p>節・細節: 38 車両修繕費</p>			<p>担当者名: 巴</p>

(単位:千円)

<p>【事業内容】</p>	<p>7年度予算額</p>
<p>4 空気ばね購入事業</p>	

(1 事業目的・内容)

10000形車両用の空気ばねを購入します。  
 空気ばねは、外筒と内筒にゴム製のダイヤフラムがはさまれている構造となっています。また、外筒には加硫接着されたゴム部があります。ゴム部は経年により劣化するため周期的な交換が必要です。  
 重要部・全般保全検査において、ダイヤフラムは既に順次交換しています。外筒についても交換実施します。交換に必要な数量を購入します。製作に半年以上の期間が必要な部品を調達するため、令和8年度に使用する材料を1年前倒しで購入するものです。



(2 前年度から変更・見直した点)

- ・各部品の在庫数量と1編成あたりの必要数量の差から購入数量を算出しました。
- ・実績単価及び見積により部品単価を算出しました。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・鉄道に関する技術上の基準を定める省令
- ・横浜市高速鉄道車両整備実施基準
- ・高速鉄道車両整備要領10000形

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 巴

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
5 空調装置購入事業	14,036

## (1 事業目的・内容)

空調装置はオーバーホールを順次行っていますが、新型コロナウイルス感染症対策で車内換気と同時に冷房運転を行ったことや酷暑による稼働負荷上昇により、故障の発生頻度が高くなっています。また、他事業者でも同様に空調装置の故障が増えているため、故障した装置のメーカー修理対応に以前よりも長く時間がかかっています。

修理対応に必要な予備品を確保するため、R6年度空調装置を購入契約しました。長納期のため、R7年度に購入費用を支出します。



空調装置

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・鉄道に関する技術上の基準を定める省令
- ・横浜市高速鉄道車両整備実施基準
- ・高速鉄道車両整備要領10000形

## (4 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費		14,036				14,036
債務負担設定	8,800					8,800

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 巴

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
6 フィルタリアクトル購入事業	5,434

## (1 事業目的・内容)

フィルタリアクトルは、制御装置で発生した電氣的ノイズを減衰する装置です。  
 2008年3月のグリーンライン開業から16年が経過し、装置の絶縁劣化が進んでいる恐れがあります。絶縁劣化の放置は地絡を招き、軌道内停電による大規模な輸送障害につながる可能性があり、安定的な輸送に影響を及ぼします。  
 フィルタリアクトルの補修に必要な予備品を確保するため、R6年度にフィルタリアクトルを購入契約しました。  
 長納期のため、R7年度に購入費用を支出します。



## (2 前年度から変更・見直した点)

新規案件

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・鉄道に関する技術上の基準を定める省令
- ・横浜市高速鉄道車両整備実施基準
- ・高速鉄道車両整備要領10000形

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 巴

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
<b>7 パンタグラフ購入事業</b>	
<p>(1 事業目的・内容)</p> <p>グリーンライン10000形車両用のパンタグラフ等を購入します。            重要部保全検査及び全般保全検査において、パンタグラフを循環整備しています。現在、循環整備のため準備されているパンタグラフは2組です。4両編成の車両に使われているパンタグラフは2組ですが、6両編成の車両に使われているパンタグラフは3組です。            6両編成車両の定期検査時のパンタグラフ循環整備に必要な部品数を確保するため、パンタグラフ、ヒューズ箱、避雷器を購入します。</p>	
<p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>新規案件</p>	
<p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道に関する技術上の基準を定める省令</li> <li>・横浜市高速鉄道車両整備実施基準</li> <li>・高速鉄道車両整備要領10000形</li> </ul>	

令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 巴

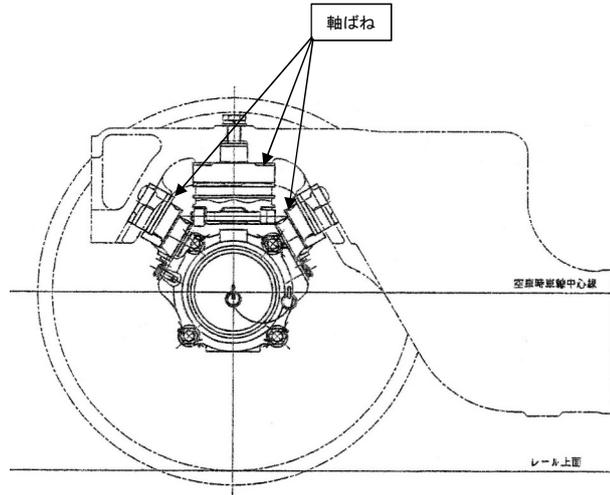
(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
--------	--------

8 軸ばね購入事業

(1 事業目的・内容)

10000形車両用の軸ばねを購入します。  
 軸ばねは、輪軸(軸箱)と台車をつなぐ、ゴム部を有した部品です。  
 ゴム部は、経年により劣化するため定期的な交換が必要です。重要部・全般保全検査において、軸ばねを交換します。  
 製作に半年以上の期間が必要な部品を調達するため、令和8年度に使用する材料を1年前倒しで調達するものです。



(2 前年度から変更・見直した点)

新規案件

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・鉄道に関する技術上の基準を定める省令
- ・横浜市高速鉄道車両整備実施基準
- ・高速鉄道車両整備要領10000形

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)	
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 巴	

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
9 車両検査ほか委託事業	407,566

## (1 事業目的・内容)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令(国土交通省)及び施設並びに車両の定期検査に関する告示(国土交通省告示)に従い、横浜市高速鉄道車両整備実施基準に定められた車両の定期検査として、列車検査、月検査及び重要部保全検査、全般保全検査の業務を委託して実施します。委託契約はR3年度から5年間の複数年契約として、R7年度は契約の5年目となります。

## ○定期検査の内容

列車検査	10日を超えない期間ごとに車両の主要部品の状態について、目視等により検査を行います。
月検査	90日を超えない期間ごとに車両の状態及び機能について検査を行います。
重要部保全検査	重要部検査の周期を4年から5年に延伸した検査です。5年または走行距離が60万キロメートルを超えない期間のいずれか短い期間ごとに、動力発生装置、走行装置、ブレーキ装置等、主要部分について分解・検査を行います。
全般検査	8年を超えない期間ごとに、車両を全般にわたって分解・検査を行います。
全般保全検査	全般検査の周期を延伸し、10年を超えない期間ごとに、車両を全般にわたって分解・検査を行います。

## (2 前年度から変更・見直した点)

・R5年度に締結した契約に合わせて項目と金額を修正しました(過年度:R3~R5は実績、R6は予算額)。

(単位:千円)

＜車両検査ほか委託事業内訳＞			R3年度		R4年度		R5年度		R6年度		R7年度				
項目	単価(税込)	単位	数量	金額(税込)	数量	金額(税込)	数量	金額(税込)	数量	金額(税込)	数量	金額(税込)			
重要部保全検査	車体ほか	重要部保全検査	35,254	編成	1	35,254	1	35,254	2	70,508	1	35,254	4	158,643	
		全般(保全)検査	38,429	編成	5	192,145	1	38,429	1	38,429	1	38,429	1	38,429	
		シート洗浄	282	編成	2	564	1	282	3	846	2	564	5	1,410	
		車輪交換	4,598	編成	1	4,598	1	4,598	0	0	0	0	0	0	
	全般検査	ATC装置ほか	重要部保全検査	3,165	編成	1	3,165	0	0	2	6,330	1	3,165	3	9,495
				3,297	編成	0	0	1	3,297	0	0	0	1	3,297	
			全般(保全)検査	3,165	編成	4	12,660	1	3,165	1	3,165	1	3,165	1	3,165
		列車無線装置	重要部保全検査	935	編成	1	935	1	935	2	1,870	1	935	4	3,740
			全般(保全)検査	935	編成	5	4,675	1	935	1	935	1	935	1	935
			計			-	257,285	-	86,895	-	122,083	-	82,447	-	219,114
月検査、列車検査ほか	責任者	119	回	242	28,798	243	28,917	243	28,917	243	28,917	242	28,798		
	月検査(4両)	590	回	66	38,940	66	38,940	51	30,090	35	20,650	28	16,520		
	月検査(6両)	885	回	0	0	2	1,770	17	15,045	33	29,205	40	35,400		
	列車検査(4両)	10	回	376	3,760	538	5,380	432	4,320	315	3,150	238	2,380		
	列車検査(6両)	14	回	0	0	38	532	144	2,016	261	3,654	338	4,732		
	車輪削正	20	軸	280	5,600	296	5,920	320	6,400	352	7,040	352	7,040		
	冷房点検(4両)	260	回	34	8,840	32	8,320	23	5,980	19	4,940	14	3,640		
	冷房点検(6両)	390	回	0	0	2	780	11	4,290	15	5,850	20	7,800		
	暖房点検(4両)	169	回	17	2,873	16	2,704	12	2,028	9	1,521	7	1,183		
	暖房点検(6両)	253	回	0	0	1	253	5	1,265	8	2,024	10	2,530		
	ライニング張替	9	枚	70	630	544	4,896	592	5,328	640	5,760	704	6,336		
	故障対応	176	日	365	64,240	365	64,240	366	64,416	365	64,240	365	64,240		
	業務補助(検修設備月例点検等)	-	式	1	3,363	1	7,865	1	7,881	1	7,869	1	7,853		
計			-	157,044	-	170,517	-	177,976	-	184,820	-	188,452			
合計				414,329		257,412		300,059		267,267		407,566			

※…6両化による調整有

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・鉄道に関する技術上の基準を定める省令
- ・横浜市高速鉄道車両整備実施基準
- ・高速鉄道車両整備要領10000形
- ・施設及び車両の定期検査に関する告示(国土交通省告)

## (4 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費	267,267	407,566				674,833
債務負担設定						0

令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 巴

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
10 その他修理事業	38,034

(1 事業目的・内容)

車両故障等が発生した際に、不具合箇所の修理を実施するものです。  
 安全な運行の提供の為、迅速な修理を実施する必要があります。  
 緊急に対応が必要な修理のほか、全般・重要部検査の入場時に実施する修理作業を含みます。  
 緊急修理の費用は、過去2年間の平均修理単価と今年度の修理件数予測を基に算出しました。  
 定期入場時に実施する修理は令和5年度の契約実績から単価を採用しました。

【過去2年間の緊急修理件数と平均単価】

	緊急修理件数(件)	緊急修理平均単価(千円)
令和4年度	25	337
令和5年度	27	249
令和6年度 予測	※ 40	

※緊急修理件数:28件(9月末時点)

【内訳】

・緊急修理費用

・列車無線アンテナカバーシール材補修	× 5 編成	=	千円
・連結ホク取付部シール材補修	× 5 編成	=	千円
・車体外板シール材補修	× 5 編成	=	千円
・基礎ブレーキ装置ダイヤフラム交換	× 1 編成	=	千円
・台車ゴムブッシュ交換	× 1 編成	=	千円
・客室窓室外側シール材補修	× 5 編成	=	千円
・フィルタリアクトル交換	× 5 編成	=	千円
・側開戸及び非常扉ゴムパッキン等交換	× 2 編成	=	千円

計	38,034 千円
---	-----------

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・鉄道に関する技術上の基準を定める省令
- ・横浜市高速鉄道車両整備実施基準
- ・高速鉄道車両整備要領10000形

令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 巴

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
--------	--------

11 車両屋根絶縁材補修事業

(1 事業目的・内容)

10000形車両は開業から15年以上経過しているため、屋根の絶縁材が経年劣化し、ひび割れが発生している箇所があります。絶縁材に剥離が発生している箇所について、劣化箇所を除去して再塗布します。

予定施工編成数	
令和6年度	8
令和7年度	7



屋根上絶縁材



絶縁材ひび割れ

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・鉄道に関する技術上の基準を定める省令
- ・横浜市高速鉄道車両整備実施基準
- ・高速鉄道車両整備要領10000形

令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 巴

(単位:千円)

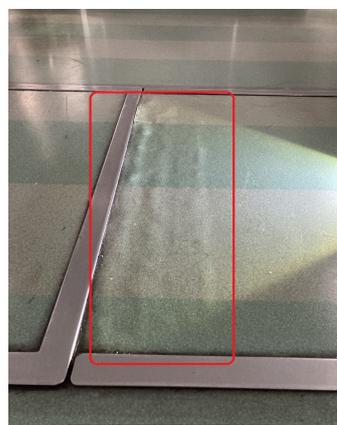
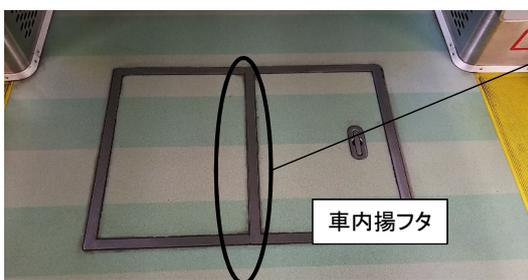
【事業内容】 7年度予算額

12 車内揚フタ交換事業

(1 事業目的・内容)

車内揚フタは、リニアモーターの吊り装置を点検・調整するために設けられた客室床面の開口部のフタです。経年劣化によりステンレス枠の腐食と床材の剥離が進んでいて、床面が浮いてしまい凹凸になっています。劣化しているものを優先して交換を行い補修します。

予定施工編成数	
令和5年度	1
令和6年度	2
令和7年度	5
令和8年度	5
令和9年度	2
令和10年度	2
計	17



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・鉄道に関する技術上の基準を定める省令
- ・横浜市高速鉄道車両整備実施基準
- ・高速鉄道車両整備要領10000形

令和7年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 巴

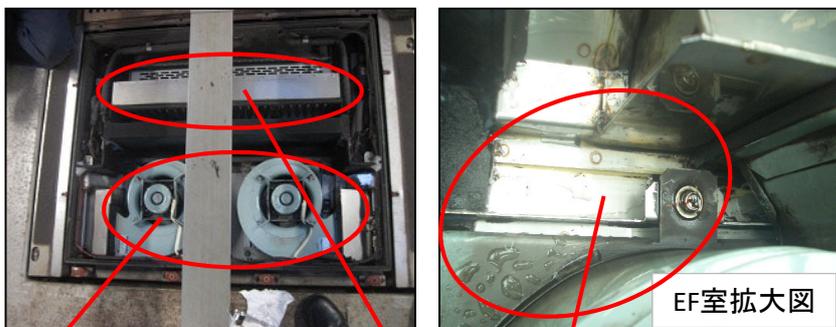
(単位:千円)

【 事 業 内 容 】 7年度予算額

13 空調装置オーバーホール事業

(1 事業目的・内容)

10000形車両空調装置のオーバーホールを実施します。  
 10000形車両の空調装置は、熱交換器、パッキン等部品の経年劣化により、空調効率が低下しています。また、熱交換器からの排水が他の機器室へ侵入しており、客室への水漏れや、同装置内コンプレッサーの動作不良を引き起こす恐れがあり、オーバーホールが必要です。



EF      熱交換器      浸水状況

- ・重要部、全般検査入場車両を対象に交換を実施します。(1両あたり2台)
- ・既契約の実績金額に物価上昇率分割増し、予定編成数により予算金額を算出しました。

	対象編成数	対象編成
平成29年度実施予定	-	トライアル1台(第2編成)
平成30年度実施予定	2	第10, 11編成
令和元年度実施予定	5	第9, 12~15編成
令和2年度実施予定	4	第1~4編成
令和3年度実施予定	3	第5~7編成
令和4年度実施予定	0	-
令和5年度実施予定	1	第8編成
令和6年度実施予定	0	-
令和7年度実施予定	0	予備品
令和8年度実施予定	1	第16編成
令和9年度実施予定	1	第17編成
計	17	

<内訳>

項目	単価(千円)	R6年度		R7年度		R8年度	
		台数	金額(千円)	台数	金額(千円)	台数	金額(千円)
空調装置オーバーホール		0	0	1		8	-
空調装置脱着作業		0	0	0	0	8	-
合計			0				

(2 前年度から変更・見直した点)  
 予備品(1台)のオーバーホールを計上

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・鉄道に関する技術上の基準を定める省令
- ・横浜市高速鉄道車両整備実施基準
- ・高速鉄道車両整備要領10000形

令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 巴

(単位:千円)

【事業内容】 7年度予算額

14 フィルタリアクトル補修事業

(1 事業目的・内容)

フィルタリアクトルの補修を実施します。  
 フィルタリアクトルは、制御装置で発生した電気のノイズを減衰する装置です。  
 2008年3月のグリーンライン開業から16年が経過し、装置の絶縁劣化が進んでいる恐れがあります。絶縁劣化の放置は地絡を招き、軌道内停電による大規模な輸送障害につながる可能性があり、安定的な輸送に影響を及ぼします。  
 予備品と交換し、降ろしたリアクトルを清掃、絶縁材の剥離、再塗布を行います。

	施工予定編成数
令和7年度実施予定	3
令和8年度実施予定	5
令和9年度実施予定	2
令和10年度実施予定	3
令和11年度実施予定	2
令和12年度実施予定	1

(2 前年度から変更・見直した点)  
 新規案件

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・鉄道に関する技術上の基準を定める省令
- ・横浜市高速鉄道車両整備実施基準
- ・高速鉄道車両整備要領10000形

(4 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 巴

(単位: 千円)

【事業内容】	7年度予算額
--------	--------

## 15 車椅子スペース床面標記貼付業務委託

## (1 事業目的・内容)

車椅子、ベビーカーのお客様が快適にご利用いただくために、各車両に車椅子・ベビーカーエリアを設けています。  
 車椅子スペース床面標記はお客様が容易に識別できるよう、BL4000形車両ならびにGL6両化車両床面に貼りつけています。  
 今後、GL未施工車両に貼付を実施するため業務委託を行います。

(車椅子スペース床面ステッカー購入はR6年度に別途契約済)

未施工車両

## (1)グリーンライン

- ・10000(4両) 4箇所/編成 28箇所/7編成



## (2 前年度から変更・見直した点)

新規事業

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

公共交通機関等における車椅子・ベビーカー利用の安全性・快適性向上

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術) 担当者名: 熊谷

(単位:千円)

	7年度 A	6年度 B	増△減(A-B)
予算額	46,883	64,628	△ 17,745

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
1 材料調達事業	1,301

## (1 事業目的・内容)

上永谷及び新羽車両基地に設置している設備等に用いる消耗品を購入します。

年度	契約実績(税込)
令和3年度	2,293
令和4年度	120
令和5年度	1,489
平均値	1,301

年度	予算要求(税込)
令和7年度	1,301

税率10%

## (2 前年度から変更・見直した点)

令和3年度～令和5年度の契約実績の平均値を根拠として積算を行いました。

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
--------	--------

## 2 車両検修設備保守委託事業

## (1 事業目的・内容)

上永谷車両基地、新羽車両基地に設置されている車両検修設備の保守を行います。

車両検修設備は車両の各種検査及び車両脱線時の復旧等に使用しています。装置の定期点検を行い、性能、安全性及び寿命を維持します。

名称	数量	使用用途	点検周期	設置場所	R6年度点検	R7年度点検
車両輪重測定装置	1台	重要部・全般保全検査	1年	上永谷修繕工場	○	○
自動車両洗浄装置	2台	車両洗浄	2年	上永谷検車区、新羽検車区	-	○
台車洗浄装置	1台	重要部・全般保全検査	2年	上永谷修繕工場	-	-
台車塗装装置 (脱臭装置、塗装ロボット含)	1台	全般保全検査	3年	上永谷修繕工場	-	○
輪軸洗浄装置(洗浄ロボット含む)	1台	重要部・全般保全検査	3年	上永谷修繕工場	-	-
台車トラバーサ(台車抜き装置)	1台	重要部・全般保全検査	3年	上永谷修繕工場	-	○
主電動機気吹装置 (排気処理、気吹ロボット含)	1台	重要部・全般保全検査	3年	上永谷修繕工場	-	-
ルーカス脱線復旧装置	2台	脱線復旧	3年	上永谷検車区、新羽検車区	-	-
台車分解組立装置	2台	重要部・全般保全検査	3年	上永谷修繕工場	-	-
台車輪軸転車台	8基	重要部・全般保全検査	6年	上永谷修繕工場	-	-
輪芯旋盤	1台	重要部・全般保全検査	3年	上永谷修繕工場	-	-
超音波探傷装置	1台	重要部・全般保全検査	6年	上永谷修繕工場	-	-
歯車箱回転検査装置	1台	重要部・全般保全検査	6年	上永谷修繕工場	○	-

※台車洗浄装置はR6年度に更新のため点検を実施しない。

## (2 前年度から変更・見直した点)

装置の点検周期に合わせて実施。

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
--------	--------

## 3 車両移動機等保守委託事業

## (1 事業目的・内容)

車両移動機と高所作業車は、主に車輪削正時の車両移動と車両屋根の点検に使用しています。

上永谷車両基地と新羽車両基地の車両移動機、高所作業車について、法廷で定められた定期自主検査を行い、性能、安全性及び寿命を維持します。



点検周期表に基づき点検を実施します。

名称	型式等	数量	使用用途	点検周期	設置場所	R6年度点検	R7年度点検
車両移動機	AN77RR-2ST	1台	重要部・全般保全検査	毎年	上永谷修繕工場	○	○
	30D-BWAT	1台	車輪削正時の車両移動	毎年	上永谷検車区	○	○
	21HM	1台	車輪削正時の車両移動	毎年	新羽車両基地	○	○
高所作業車	MAX-LIFT-700	1台	重要部・全般保全検査	毎年	上永谷修繕工場	○	○
テーブルリフター	ANT-LT-700	1台	重要部・全般保全検査	3年	上永谷修繕工場	○	-

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

労働安全衛生規則第229条(定期自主検査) : 事業者は、1年以内毎に1回、定期に自主検査を行わなければならない。

労働安全衛生規則第194条の23(定期自主検査) : 事業者は、1年以内毎に1回、定期に自主検査を行わなければならない。

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)	
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 熊谷	

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
--------	--------

## 4 クレーン定期自主検査事業

## (1 事業目的・内容)

車両基地に設備されているクレーンは、車両や車両部品等を運搬するために使用しています。  
各クレーンについて、法令で定められた定期自主検査を行い、性能、安全性及び寿命を維持します。

名称	重量	数量	使用用途	設置場所	月例点検	年次点検	検査周期
天井クレーン	15t/3t	2基	重要部・全般保全検査	上永谷修繕工場	11回	1回	1年
	7.5t	1基	重要部・全般保全検査	上永谷修繕工場	11回	1回	1年
	1t	1基	各装置等の運搬	上永谷修繕工場	-	1回	1年
ホイスト付天井クレーン	10t	1基	重要部・全般保全検査	上永谷修繕工場	11回	1回	1年
	2.5t	2基	重要部・全般保全検査	上永谷修繕工場	-	1回	1年
スタッカークレーン	4.2t	1基	重要部・全般保全検査	上永谷修繕工場	11回	1回	1年
	0.8t	2基	各装置等の運搬	上永谷修繕工場	11回	1回	1年
モノレールホイストクレーン	0.25t	2基	各装置等の運搬	上永谷検車区	-	1回	1年
橋形クレーン	8.1t	1基	レール等重量物運搬	新羽施設区	11回	1回	1年
	4.8t	1基	レール等重量物運搬	上永谷施設区	11回	1回	1年

## 性能検査(揚力3t以上が対象)

名称	重量	数量	検査周期	実施年
天井クレーン	15t/3t	2基	2年	R6年実施
	7.5t	1基		R6年実施
ホイスト付天井クレーン	10t	1基		R6年実施
スタッカークレーン	4.2t	1基		R7年実施
橋形クレーン	4.8t	1基		R7年実施
	8.1t	1基		R7年実施

## (2 前年度から変更・見直した点)

15t/3t天井クレーン(2基)整備を削除します。

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

労働安全衛生法第45号の1、同法施行令第15条、クレーン等安全規則第34条(定期自主検査)  
1年以内毎に1回、また、1か月以内毎に1回、検査を行わなければならない。

労働安全衛生法 第45条の2

特定自主検査を行う際は、資格を有するもの又は登録を受けたものを実施させなければならない。

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
--------	--------

## 5 フォークリフト等特定自主検査事業

## (1 事業目的・内容)

上永谷及び新羽車両基地のフォークリフトは、車両部品等の運搬に使用しています。また、作業台付蓄電池車は、車両検査の作業に使用しています。各フォークリフト及び作業台付蓄電池車について、法令で定められた定期自主検査を行い、性能、安全性及び寿命を維持します。

点検周期表に基づき点検を実施します。

名称	重量	数量	使用用途	点検周期	設置場所
バッテリー フォークリフト	2.5t	1台	物品搬入・移動等	毎年	上永谷修繕工場
	1.65t	1台	物品搬入・移動等	毎年	上永谷検車区
	1.6t	1台	物品搬入・移動等	毎年	上永谷修繕工場
	1.5t	1台	物品搬入・移動等	毎年	上永谷修繕工場
	1.0t	1台	物品搬入・移動等	毎年	新羽検車区
エンジンフォークリフト	3.0t	1台	物品搬入・移動等	毎年	上永谷修繕工場
作業台付蓄電池車	-	4台	重要部・全般保全検査等	毎年	上永谷修繕工場

## (2 前年度から変更・見直した点)

バッテリー交換作業を追加。

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

労働安全衛生規則第151条の24(フォークリフトの特定自主検査)及び194条の26(作業台付蓄電池車の特定自主検査)

1年以内毎に1回、検査を行わなければならない。

労働安全衛生法第45条の2

自主検査を行う際は、資格を有するもの又は登録を受けたものを実施させなければならない。

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額																		
<b>6 架空集電装置定期検査事業</b>																			
<p>(1 事業目的・内容)</p> <p>架空集電装置は、第三軌条の設備が無い建屋内で車両用動力電源として使用しており、上永谷検車区(2基)、修繕工場(1基)及び新羽検車区(2基)にそれぞれ設置されています。各架空集電装置について、省令で定められた定期検査を行い、性能、安全性及び寿命を維持します。</p> <p>点検周期表に基づき点検を実施します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>型式等</th> <th>数量</th> <th>使用用途</th> <th>点検周期</th> <th>設置場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">架空集電装置</td> <td>-</td> <td>2基</td> <td rowspan="3">車両電源供給</td> <td rowspan="3">毎年</td> <td>上永谷検車区</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>1基</td> <td>上永谷修繕工場</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>2基</td> <td>新羽検車区</td> </tr> </tbody> </table>		名称	型式等	数量	使用用途	点検周期	設置場所	架空集電装置	-	2基	車両電源供給	毎年	上永谷検車区	-	1基	上永谷修繕工場	-	2基	新羽検車区
名称	型式等	数量	使用用途	点検周期	設置場所														
架空集電装置	-	2基	車両電源供給	毎年	上永谷検車区														
	-	1基			上永谷修繕工場														
	-	2基			新羽検車区														
<p>(2 前年度から変更・見直した点)</p>																			
<p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>鉄道に関する技術上の基準を定める省令第90条の2  施設及び車両の定期検査に関する告示第3条(電力設備の定期検査)  1年以内毎に1回、定期に検査を行わなければならない。</p>																			

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)	
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 熊谷	

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
--------	--------

## 7 一般工作機械保守委託事業

## (1) 事業目的・内容)

一般工作機械は、上永谷修繕工場における車両定期検査及び修繕で車両部品の脱着や試験に使用しています。各工作機械について省令で定められた定期検査を行い、性能、安全性及び寿命を維持します。

点検周期表に基づき点検を実施します。

名称	型式等	数量	使用用途	点検周期	設置場所	R6年度点検	R7年度点検
スケヤージャ	N-1504	1台	鋼板・アルミ・ステンレス等の板材の切断	毎年	上永谷修繕工場	○	○
油圧プレス	BC-25	1台	材料加工(曲げ、圧縮、圧脱、圧入等)	毎年	上永谷修繕工場	○	○
パネ試験器	RUE-200	1台	地下鉄車両の鋼材等の機械的強度	毎年	上永谷修繕工場	○	○
スクリュー コンプレッサー	KST22AD-S	2台	空圧機械や工具用の圧縮空気を 作り出す機械の定期自主検査	4年	上永谷修繕工場	-	○
	SG610AD-5HM	1台		(前回R3)	上永谷修繕工場	-	○
	SG22ADIV	1台		4年	上永谷検車区	-	-
	HM-22ADiH型	1台		4年	上永谷検車区	-	-
	HM-22ADiH型	2台		(前回R5)	新羽検車区	-	-

## (2) 前年度から変更・見直した点)

点検周期による。

## (3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

スケヤージャ

労働安全衛生法第45条の1(定期自主検査)

事業者は、定期に自主検査を行ない、その結果を記録しておかなければならない。

労働安全衛生法施行令第15条の2(定期に自主検査を行うべき機械等)

労働安全衛生規則第135条(定期自主検査)

事業者は、1年以内毎に1回、定期に自主検査を行なわなければならない。

パネ試験機

JIS-B-7721引張試験器第11項

事業者は、1年以内毎に1回、検査・校正を行なわなければならない。

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)	
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 熊谷	

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
--------	--------

## 8 ATC・ATO試験装置保守委託事業

## (1 事業目的・内容)

3000形車両用ATC・ATO試験器エーシング架の6年に1回の定期点検を委託して実施するものです。  
 当該試験装置は、3000形車両に搭載しているATC・ATO装置の法定定期検査や故障分析に使用しており、その十分な性能は適正な車両保守及び車両故障対応に必要です。この装置は定期的に保守点検を行わないと、試験装置としての精度を保つことが出来ません。  
 本件はこの試験装置の性能を維持するために行うものです。

点検周期表に基づき点検を実施します。

名称	型式等	数量	使用用途	点検周期	前回点検	設置場所	R5年度点検	R6年度点検	R7年度点検	R8年度点検
ATC試験器	C822476	1台	試験器の 性能維持	6年	R3年度	修繕工場	-	-	-	-
	C980742	1台			R4年度	新羽検車区	-	-	-	-
ATC/ATO試験器	PB0763	1台			R5年度	新羽検車区	○	-	-	-
	PB0764	1台			R6年度	上永谷検車区	-	○	-	-
ATO送受信器 試験器	RT1816A	1台			新規	新羽検車区	-	-	○	-
		1台			R6年度	上永谷検車区	-	○	-	-

(2 前年度から変更・見直した点)  
 点検周期による。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額												
<b>9 新羽車両基地車輪転削盤保守委託事業</b>													
<p>(1 事業目的・内容)</p> <p>車輪転削盤は、走行により摩耗した車輪を正しい形状に削正する装置です。定期的な削正により車輪形状を管理しています。新羽車両基地の車輪転削盤について年次点検を行い、装置の性能、安全性及び寿命を維持します。</p> <p>点検周期表に基づき点検を実施します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>型式等</th> <th>数量</th> <th>使用用途</th> <th>点検周期</th> <th>設置場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車輪転削盤</td> <td>LUT-106</td> <td>1台</td> <td>車輪形状の管理</td> <td>毎年</td> <td>新羽検車区</td> </tr> </tbody> </table>		名称	型式等	数量	使用用途	点検周期	設置場所	車輪転削盤	LUT-106	1台	車輪形状の管理	毎年	新羽検車区
名称	型式等	数量	使用用途	点検周期	設置場所								
車輪転削盤	LUT-106	1台	車輪形状の管理	毎年	新羽検車区								
(2 前年度から変更・見直した点)													
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)													

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術) 担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
<b>10 ブルーライン運用管理システムセキュリティ対策業務委託事業</b>	
(1 事業目的・内容) 運用管理システムは、車両の運用や検査、清掃等の作業計画及び基地内の配車計画に使用しています。 サーバクライアント方式で構成されておりセキュリティ対策としてウイルス対策用ソフトウェアをインストールしています。 情報セキュリティを確保するため、システム全体のウイルス対策用ソフトウェアの定期的な更新を行います。	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等) 横浜市交通局情報セキュリティ管理規程 横浜市交通局情報セキュリティ管理要綱	

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額														
<b>11 その他修理事業</b>	<b>10,508</b>														
<p>(1 事業目的・内容)</p> <p>上永谷車両基地及び新羽車両基地に設置している設備の不具合箇所の修理対応を行います。  車両基地の設備等は、列車検査、月検査及び重要部・全般保全検査で使用しています。機器類が故障し機能を停止した場合、各検査の工程に支障をきたす恐れがあることから迅速な修理対応が必要となります。</p> <p>令和3年度～令和5年度の契約実績の平均値を根拠として積算を行いました。  不具合が発生している機器・装置の修理費を計上。</p> <table border="1" data-bbox="248 566 529 683"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>契約実績(税込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>11,563</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>9,529</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>10,432</td> </tr> <tr> <td>平均値</td> <td>10,508</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="608 566 895 636"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>予算要求(税込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和7年度</td> <td>10,508</td> </tr> </tbody> </table>		年度	契約実績(税込)	令和3年度	11,563	令和4年度	9,529	令和5年度	10,432	平均値	10,508	年度	予算要求(税込)	令和7年度	10,508
年度	契約実績(税込)														
令和3年度	11,563														
令和4年度	9,529														
令和5年度	10,432														
平均値	10,508														
年度	予算要求(税込)														
令和7年度	10,508														
<p>(2 前年度から変更・見直した点)</p>															
<p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p>															

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
--------	--------

## 12 U字型台秤ほか保守委託事業

## (1 事業目的・内容)

U字型台秤は、地下鉄車両整備等で不要となった車輪、ディスク板及び機器類の売り払い時の数量(質量)算出に用いています。



U字型台秤



デジタル吊秤

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## 【計量法】

## 第十九条(定期検査)

特定計量器(第十六条第一項又は第七十二条第二項の政令で定めるものを除く。)のうち、その構造、使用条件、使用状況等からみて、その性能及び器差に係る検査を定期的に行うことが適当であると認められるものであって政令で定めるものを取引又は証明における法定計量単位による計量に使用する者は、その特定計量器について、その事業所(事業所がない者にあつては住所。以下この節において同じ。)の所在地を管轄する都道府県知事(その所在地が特定市町村の区域にある場合にあつては、特定市町村の長)が行う定期検査を受けなければならない。

## 【計量法施行令】

## 第十一条(定期検査の実施時期)

法第二十一条第一項の政令で定める期間は、非自動はかり、分銅及びおもりにあつては二年とし、皮革面積計にあつては一年とする。

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
<p><b>13 主電動機無負荷回転試験装置保守委託事業</b></p> <p>(1 事業目的・内容) 全般保全検査入場車両の主電動機の分解検査、組立後無負荷状態で性能を確認するために用いています。</p>  <p>主電動機無負荷回転試験装置</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点) R3年度に機器更新実施、保守点検委託は新規事業。</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等) 機器を健全に使用していくに当り推奨される点検周期が3年のため実施。</p>	

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術) 担当者名: 小林

(単位:千円)

	7年度 A	6年度 B	増△減(A-B)
予算額	40,712	48,970	△ 8,258

<input type="checkbox"/>	ブルーライン
<input type="checkbox"/>	グリーンライン
<input type="checkbox"/>	共通

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
1 材料調達事業	545

## (1 事業目的・内容)

川和車両基地に設置している、車体洗浄装置や車両管理システム等の車両検修設備に使用する交換部品及び消耗品を購入します。

## (2 前年度から変更・見直した点)

過去5年間(令和元年度から令和5年度)の契約実績金額の平均値を計上。

(単位:千円)

年度	実績金額	平均
令和元年度	221	545
令和2年度	1,333	
令和3年度	853	
令和4年度	174	
令和5年度	143	

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 小林

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
2 車両検修設備保守委託事業	

## (1 事業目的・内容)

川和車両基地に設置している車両検修設備は車両の各種検査に使用しています。  
各種検修設備の性能、安全性及び寿命を維持するため、設備毎に点検周期を定め、計画的に点検及び保守作業を実施しています。

## (2 前年度から変更・見直した点)

各種設備の点検周期に基づき下記表のとおり点検を実施します。  
各種装置の単価は実績金額により積算しました。  
クレーン保守点検業務委託を含みます。  
車体自動洗浄装置のベアリング等の交換を含みます。

設備名称	点検周期	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
LIMギャップ測定装置	毎年	○	○	○	○	○
車両輪重測定装置	毎年	○	○	○	○	○
クレーン装置	毎年	○	○	○	○	○
車体自動洗浄装置	2年	○	-	○	-	○
気吹き集じん装置	3年	○	-	-	○	-
台車抜取装置	3年	-	○	-	-	○
脱線復旧装置	3年	-	○	-	-	○
車輪転削盤	2年	-	○	-	○	-

## &lt;内訳&gt;

(単位:千円)

対象設備	金額
LIMギャップ測定装置	
車両輪重測定装置	
クレーン装置	
車体自動洗浄装置	
計	

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- 有  
 無

横浜市高速鉄道車両整備実施基準第14条(静止輪重の管理)

輪重比管理を適正に行うため、輪重測定装置の校正を定期的(毎年)行う必要がある。  
労働安全衛生法第45号の1、同法施行令第15条、クレーン等安全規則第34条(定期自主検査)  
1年以内に1回、また、1ヶ月以内ごとに1回、検査を行わなければならない。

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 小林

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
--------	--------

## 3 車両移動機保守委託事業

## (1 事業目的・内容)

川和車両基地に設置している車両移動機は車輪の転削作業等で車両を移動する際に使用しております。  
 車両移動機の性能、安全性及び寿命を維持するため、法令で定められた定期自主検査を行います。  
 ※検査周期:毎年



30DR-2ST: 車両移動機

## (2 前年度から変更・見直した点)

無し

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

有  
 無

労働安全衛生規則第二百二十九条(定期自主検査)

事業者は、電気機関車等については、一年以内ごとに一回、定期に、自主検査を行わなければならない。

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 小林

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
--------	--------

## 4 台車抜取装置修理委託事業

## (1 事業目的・内容)

台車抜取装置は、鉄道車両の車体全体を持ち上げることなく、車輪がとりについている台車をそのまま抜き取ることができる装置です。年次点検にて台車抜取装置の不具合が見つかったため修理を行います。



## (2 前年度から変更・見直した点)

無し

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

有  
 無

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 小林

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
--------	--------

## 5 フォークリフト等特定自主検査事業

## (1 事業目的・内容)

川和車両基地で使用しているフォークリフト及び高所作業車等は、重量が大きな部品の運搬や、車両屋根上を検査する際に使用します。各フォークリフト及び高所作業車の性能、安全性及び寿命を維持するため、法令で定められた特定自主検査を行います。

※検査周期: 毎年

対象設備	型式等	数量
バッテリーフォークリフト	1.5t	1台
バッテリーフォークリフト	3.0t	1台
高所作業車	0.41t	2台
バッテリー式運搬車	1.0t	1台

## (2 前年度から変更・見直した点)

年度	契約実績	実績平均
令和2年度		
令和3年度		
令和4年度		
令和5年度		
令和6年度		

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- 有  
 無

労働安全衛生規則第151条の24(フォークリフトの特定自主検査)及び194条の26(作業台付蓄電池車の特定自主検査)  
1年以内ごとに1回、検査を行わなければならない。

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術) 担当者名: 小林

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
<p><b>6 車両管理システムウイルス対策ソフト更新業務委託事業</b></p> <p>(1 事業目的・内容) 川和車両基地に設置している車両管理システムは、車両の運用、検修設備、資材、図面等の管理を行っており、クライアントサーバシステムにより11台の端末とサーバで構成されています。情報セキュリティを確保するため、システム全体のウイルス対策用ソフトウェアの定期的な更新を行います。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点) 無し</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>横浜市交通局情報セキュリティ管理規程 横浜市交通局情報セキュリティ管理要綱</p>	

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 小林

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
<b>7 気吹き集じん装置修理委託事業</b>	
(1 事業目的・内容) 気吹き集じん装置は、高圧なエアを用いて車両床下機器に堆積した粉塵を吹き飛ばし、集塵する装置です。 年次点検にて気吹き集じん装置の不具合が見つかったため修理を行います。	
(2 前年度から変更・見直した点) 無し	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等) <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 小林

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
8 その他修理事業	4,581

## (1 事業目的・内容)

川和車両基地に設置している車両検修設備及びコンプレッサー等、車両整備に使用する機器で発生した不具合箇所の修理を行います。車両検修設備等は各種検査(全般、重要部、列車、月)で使用しております。

機器類が故障し、その機能が損なわれた場合、各検査工程に支障をきたす恐れがあるため、迅速な修理を実施する必要があります。

## (2 前年度から変更・見直した点)

・過去5年間(令和元年度から令和5年度)の契約実績金額の平均値を予算額としました。

年度	契約実績	実績平均
令和元年度	4,524	4,581
令和2年度	1,643	
令和3年度	6,182	
令和4年度	4,449	
令和5年度	6,106	

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

有  
 無

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 上永谷保守管理所 担当者名: 笠原

(単位:千円)

	7年度 A	6年度 B	増△減(A-B)
予算額	377	269	108

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
<b>1 上永谷検車区庁用車 車検・法定点検</b>	160
(1 事業目的・内容)  応急車及び庁用車の法令に基づく車両検査を行うものです。 ・国土交通省令に基づく点検 車検及び法定点検 1台(応急車1台)	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
<b>2 上永谷検車区庁用車 修理費</b>	200
(1 事業目的・内容)  庁用車を修理する費用。	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
<b>3 上永谷検車区洗濯機乾燥機 修理費</b>	17
(1 事業目的・内容)  3~5年使用している洗濯機乾燥機の故障時に修理する費用。 洗濯機1台	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

## 令和7年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 新羽保守管理所 担当者名: 齋藤

(単位:千円)

	7年度 A	6年度 B	増△減(A-B)
予算額	220	220	0

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額												
1 自動車点検整備	160												
(1 事業目的・内容) 応急車の法令に基づく車両検査を行うものです。 国土交通省令に基づく点検 <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>・キャンター 800つ579</td> <td>検査周期</td> <td>6か月点検</td> <td>12か月点検</td> <td>車検</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1年</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>160</td> </tr> </table>		・キャンター 800つ579	検査周期	6か月点検	12か月点検	車検	計		1年				160
・キャンター 800つ579	検査周期	6か月点検	12か月点検	車検	計								
	1年				160								
(2 前年度から変更・見直した点) なし													
(3 根拠法令・規程、現場の意見等) 国土交通省令に基づく点検													

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額						
2 自動車修理	50						
(1 事業目的・内容) 自動車修理 <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>自動車修理</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>自動車修理</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td></td> <td>50</td> </tr> </table>		自動車修理	計	自動車修理	随時		50
自動車修理	計						
自動車修理	随時						
	50						
(2 前年度から変更・見直した点) なし							
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)							

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額						
3 衣類乾燥機、洗濯機等の修理	10						
(1 事業目的・内容) 衣類乾燥機、全自動洗濯機等の修理 <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>衣類乾燥機、全自動洗濯機等の修理</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>衣類乾燥機、全自動洗濯機等の修理</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10</td> </tr> </table>		衣類乾燥機、全自動洗濯機等の修理	計	衣類乾燥機、全自動洗濯機等の修理	随時		10
衣類乾燥機、全自動洗濯機等の修理	計						
衣類乾燥機、全自動洗濯機等の修理	随時						
	10						
(2 前年度から変更・見直した点) なし							
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)							









令和7年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費      項：01 営業費用	所属： 車両課(技術)
目：30 車両保存費	担当者名： 熊谷

(単位:千円)

	7年度 A	6年度 B	増△減 A - B
予算額	131,017	116,272	14,745

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
49 備用品費	327	防菌防藻剤、光触媒スプレー、消火器
51 光熱水費	2,149	水道料金、ガス料金
56 旅費	180	定例出張旅費
57 通信運搬費	84	電話回線使用料
63 委託料	127,918	車両清掃、建物清掃、新羽車両清掃、産業廃棄物処理ほか
64 手数料	200	資格試験
65 賃借料	159	複写サービス
合 計	131,017	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)







令和7年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：30 車両保存費	所属： 上永谷保守管理所 担当者名： 笠原

(単位:千円)

	7年度 A	6年度 B	増△減 A - B
予算額	17,520	15,071	2,449

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
42 油脂系屑費	901	MC燃料(軽油)、レール清掃車ボイラー燃料(灯油)、保守用ウエス ほか
45 自動車燃料費		緊急自動車・庁用車用ガソリン及び軽油(軽油引取税)
49 備用品費	1,597	共通・小額物品、テキスト代、作業用雑貨・新採用備品、雪害対策用備品等
51 光熱水費	10,752	ガス料金、上・下水道料金
56 旅費	345	市内・市外出張旅費、立会検査旅費、各種技能・資格講習旅費
57 通信運搬費	131	電話料金、切手代等
63 委託料	2,389	事務所清掃費、産業廃棄物処分費
64 手数料	372	各種技能・資格講習費、振込手数料、印紙代
65 賃借料	624	寝具賃借料、複写サービス
68 保険料		緊急自動車・庁用車任意保険料、自賠責保険料
73 自動車重量税	86	緊急自動車・庁用車自動車重量税
96 雑費	12	有料駐車場代
合 計	17,520	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

令和7年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費      項：01 営業費用	所属：新羽保守管理所
目：30 車両保存費	担当者名：齋藤

(単位:千円)

	7年度 A	6年度 B	増△減 A - B	
予算額	9,743	10,670	△ 927	<input type="checkbox"/> ブルーライン <input type="checkbox"/> グリーンライン <input type="checkbox"/> 共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
42 油脂系屑費	148	タオルウエス、軽油
45 自動車燃料費		庁用車用軽油
49 備用品費	2,376	小額物品、事務及び作業用備品、消耗品、工具類
51 光熱水費	1,907	ガス・上下水道使用料金
56 旅費	170	市外・市内出張、各種講習・研修
57 通信運搬費	63	電話料金、切手代
63 委託料	4,247	建物清掃、産業廃棄物処理委託
64 手数料	499	各種講習・研修受講料、庁用車車検印紙代
65 賃借料		複写サービス
68 保険料		庁用車自賠責・任意保険料
73 自動車重量税	13	庁用車重量税
96 雑費	5	有料駐車場利用料
合 計	9,743	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

令和7年度はヘルメットが3年に一度の交換時期

令和7年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費      項：01 営業費用	所属：川和保守管理所
目：30 車両保存費	担当者名：永田・高野

(単位:千円)

	7年度 A	6年度 B	増△減 A - B	
予算額		12,695		ブルーライン
				○ グリーンライン
				共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
42 油脂系屑費	609	潤滑油、軽油、ウエス
49 備用品費	1,167	小額物品、共通物品等
51 光熱水費	5,426	水道代、白灯油
56 旅費	137	出張旅費
57 通信運搬費	156	電話料金、切手代等
63 委託料	4,427	建物清掃委託、産廃収集運搬及び処理等
64 手数料	138	各種講習会受講料及び各種免状交付料
65 賃借料	430	寝具及び複写機賃借料
68 保険料		庁用車自賠責保険料及び任意保険料
73 自動車重量税	32	庁用車自動車重量税
96 雑費	6	有料駐車場代
合 計		

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)